

# 和名索引

## 【あ行】

アカテツ	15
アダン	15
アマミヒツバハギ	14
イソフサギ	4
イソマツ	4
イボタクサギ	31
イワタイゲキ	6
オオイタビ	20
オオキダチハマグルマ	33
オオシマノジギク	12
オオハマボウ	15
オキナワチドリ	9
オニヤブソテツ	21

## 【か行】

ガジュマル	24
カラスキバサンキライ	19
キキョウラン	21
キヅタ	25
キツネノヒマゴ	13
クサスギカズラ	14
クサトベラ	11
クソエンドウ	33
クロイゲ	8
クロイワザサ	27
グンバイヒルガオ	27
ゲッキツ	24
コウライシバ	5
ゴモジュ	18

## 【さ行】

サクララン	25
サダソウ	25
サツマサンキライ	18
サルカケミカン	17
シマアザミ	10
シャリンバイ	16
シロバナニヤコグサ	8
シロミルスベリヒュ	31
スナズル (シマネナシカズラ)	11
センニンソウ	22
ソテツ	22
ソナレムグラ	5

## 【た行】

タイワンウォクサギ	22
タブノキ	26
ツゲモドキ	26
ツルナ	28
ツルボ	9
ツルモウリンカ	18
テッポウユリ	10

テリハツルウメモドキ	23
テリハノイバラ	11
テンノウメ	7
トベラ	16

## 【な行】

ノシラン	21
ナンゴクネジバナ	33
ネコノシタ	28

## 【は行】

ハカマカズラ	19
ハナカモノハシ	6
ハママズキ	27
ハマイヌビワ	24
ハマウツボ	29
ハマウド	13
ハマオモト (ハマユウ)	12
ハマゴウ	28
ハマサルトリイバラ	19
ハマタイゲキ	29
ハマナタマメ	29
ハマヒサカキ	17
ハマヒルガオ	30
ハマビワ	16
ハマボウフウ	30
ハマボッス	7
ハリツルマサキ	7
ヒオウギ	23
ヒメキランソウ	13
ヒメタツナミソウ	32
ヒメハマナデシコ	9
フウトウカズラ	20
ホソバワダン	6
ボタンボウフウ	8

## 【ま行】

ミズガンピ	5
ミツバノコマツナギ	14
ミツバハマゴウ	30
モクタチバナ	17
モクビヤッコウ	4
モンパンキ	10

## 【や行】

ヤブニッケイ	26
ヤプラン	20
ヤマヒヨドリバナ	23
ヤンバルツルハッカ	12
リュウキュウコケリンドウ	32
リュウキュウコザクラ	32
リュウキュウヨモギ	31

## 【参考文献】

えらぶ郷土研究会(編) 2020 『奄美植物民俗誌－沖永良部島の事例より－』 南方新社  
大川智史・林将之 2016 『ネイチャーガイド 琉球の樹木 奄美・沖縄～八重山の亜熱帯植物図鑑』 文一総合出版  
大野隼夫 1982 『奄美の四季と植物考』 道の島社  
片野田逸郎 1999 『琉球弧・野山の花 from AMAMI』 大野照好監修 南方新社  
片野田逸郎 2019 『琉球弧・植物図鑑 from AMAMI』 南方新社  
川原勝征 2001 『南九州・里の植物』 初島住彦監修 南方新社  
川原勝征 2017 『自然と生きる基礎知識 毒毒植物図鑑』 南方新社  
拵嘉一郎 1990 『喜界島風土記』 神奈川大学日本常民文化叢書1 平凡社  
田畠満大 2023 『奄美群島植物目録』 奄美の自然を考える会企画制作 南方新社  
寺田仁・大屋哲 2007 「鹿児島県喜界島の隆起サンゴ礁植物群落について」『鹿児島県立博物館研究報告』 第26号 p.45-77  
盛口満 2024 『琉球植物民俗辞典 聞き書き琉球列島の植物利用』 八坂書房  
盛山末吉 1995 『しつる村ものがたり』 高城書房出版

【方言名の参考文献】※本文中の方言名に付随している番号と文献番号が一致します。

- 1) 池田豪憲・当源一郎 1980 「喜界島の植物方言資料」『鹿児島県植物方言集』 鹿児島県立博物館
- 2) 池治誌編纂部・編集委員会(編) 1978 『池治誌』
- 3) 岩倉一郎 1977 『喜界島方言集』 柳田国男(編) 国書刊行会
- 4) 大野隼夫 1995 『奄美群島植物方言集』
- 5) 大野照好・当源一郎 1973 「喜界島の植物」『南日本文化』 第6号 南日本研究所
- 6) 喜界町保健福祉課 2009 『おいしいいたのしい喜界島』
- 7) 喜界町立第二中学校理科部 2000 『喜界島の植物とともに島に生きる』
- 8) 坂嶺集落誌編集推進委員会 1988 『坂嶺集落誌』
- 9) 志戸桶誌編纂委員会 1991 『志戸桶誌』
- 10) 政元保 1983 『南島民俗研究資料 大朝戸・西目誌考』
- 11) 盛口満 2019 『琉球列島の里山誌』 東京大学出版社
- 12) 吉永和人 1981 「喜界島植物方言目録」(YOSHINAGA Kazuto 1984 「An Enumeration of the Plants of Kikai, Ryukyus」『甲南紀要』第9号 p.76 に再掲載)

## 喜界島の海辺の植物ミニ図鑑

発行日 2025年3月31日 第1刷発行  
2025年6月30日 第2刷発行

編集・発行 喜界町教育委員会  
〒891-6292 鹿児島県大島郡喜界町湾1746

印 刷 (株)銀座コーポレーション  
〒891-6201 鹿児島県大島郡喜界町赤連2650-1

本書に掲載されている以下の植物は、法律や条例で採取等が禁止されています。みんなで大切に守っていきましょう。

**1. 国内希少野生動植物種**（絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律（種の保存法））

- ・ヒメタツナミソウ

**2. 県指定希少野生動植物種**（鹿児島県希少野生動植物の保護に関する条例）

- ・テンノウメ

**3. 町指定天然記念物**（喜界町文化財保護条例）

- ・ヒメタツナミソウ（町内全域）
- ・アカテツ群（末吉神社・阿伝）
- ・ガジュマル群（手久津久）
- ・巨大ソテツ（嘉鈍）、ソテツ群生（中間）

（本書掲載以外の町指定天然記念物）

- ・ハスノハギリ（志戸桶）

本書に掲載されている以下の植物は、喜界町自然保護条例で指定される保護植物です。採取や島外への持ち出しが、事前に町長へ届け出る必要があります。

#### 保護植物

・イソマツ	・モクビヤッコウ	・ミズガンピ	・テンノウメ
・ハリツルマサキ	・テッポウユリ	・モンパノキ	・クサトベラ
・アダン	・オオハマボウ	・シャリンバイ	・ハマヒサカキ
・ソテツ	・ガジュマル		

（本書掲載以外の保護植物）

- ・シマサルスベリ
- ・サンゴジュ
- ・リュウゼツラン

本書に掲載されている以下の植物は、絶滅が危惧されている植物です。みんなで大切に守っていきましょう。

**(環境省) 絶滅危惧 IB 類**（近い将来において野生での絶滅の危険性が高いもの）

- ・ヒメタツナミソウ

**(環境省) 絶滅危惧 II 類**（絶滅の危険が増大している種）

- ・イソマツ
- ・モクビヤッコウ
- ・ハリツルマサキ
- ・リュウキュウコケリンドウ
- ・テンノウメ
- ・オキナワチドリ
- ・ハマウツボ
- ・オオシマノジギク